



第65期 報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

証券コード：6946

日本アビオニクス株式会社

○ 株主の皆様へ



Contents

株主の皆様へ	1
セグメント別の概況	3
トピックス	5
連結財務ハイライト	6
連結財務データ	7
株式の状況	9
会社の概要	10

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第65期（平成26年4月1日から平成27年3月31日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

【情報システムの売上減少の影響を抑えるべく、民需事業は新市場の開拓と、既存市場の深耕に努めました】

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、民間設備投資等の回復が緩やかなものに留まったことや、消費税増税前の駆け込み特需およびWindows XPサポート終了に伴うPCの買い換え需要の反動等により、低調に推移しました。また、官公庁向けでは、前期にあった補正予算の効果が減少しました。

このような状況の中、当社グループは、民需事業の拡大を目指し、国内外の展示会への積極的な出展の推進、新規商談獲得に向けて既存販売店との連携を強化するとともに、自動車等の新市場開拓、既存市場の深耕に努めました。

平成27年6月
代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

【売上高は減少したものの、経常利益は3期連続黒字を確保】

当期の連結業績につきましては、補正予算の効果が薄れたことに伴い、情報システムが減少したため、売上高は減少となったものの、経常利益は黒字を確保しました。しかしながら、事業構造改善費用等の特別損失や、法人税率の引下げ等による繰延税金資産の取崩しを計上した結果、4億21百万円の当期純損益となりました。売上高、営業利益、経常利益、当期純損益の詳細な増減につきましては、次のとおりとなります。

【当期連結業績】

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
当期 (前期比)	25,685 (5.8%減少)	483 (1億56百万円減少)	430 (89百万円減少)	△421 (8億24百万円減少)

剰余金の配当につきましては、当期純損失を計上し、なお欠損金が存在することから、まことに遺憾ながら普通株式、第1種優先株式および第2種優先株式は無配とさせていただきます。

【新しい事業領域、新たな市場を獲得し、業績拡大を目指します】

次期の見通しにつきましては、企業収益の改善に伴う個人所得の増加や、米国経済が堅調に推移する見通しであること等から、緩やかな回復傾向となるものと思われまます。

このような状況の中で当社グループは、顧客とのコミュニケーションを強化し、更なる顧客価値を提供するソリューション提案を行うとともに、新しい事業領域の拡大、新規顧客や新たな市場獲得のために新製品の開発等を行うことで、業績の拡大を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

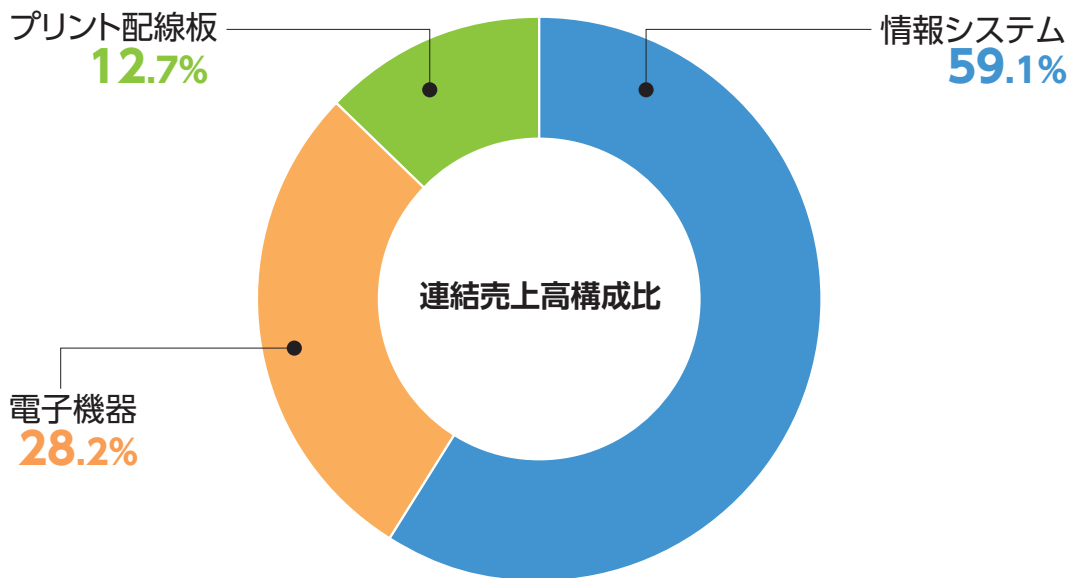
【連結業績予想[※]】

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
次期業績予想 (対前期増減率)	25,000 (2.7%減少)	500 (3.3%増加)	400 (7.0%減少)	200 (一)

※業績予想の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○ セグメント別の概況



情報システム

連結売上高

151億79百万円

(前期比7.2%減少)



— 補正予算の効果が薄れたことから減少しました。

セグメント利益

6億17百万円

(前期比2億33百万円減少)



— 売上減の影響により、減少しました。



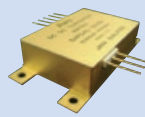
指揮・統制装置



表示・音響装置



電波応用装置

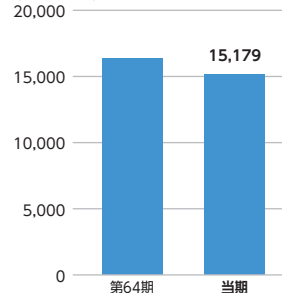


ハイブリッドIC

主要製品：誘導・搭載関連装置、表示・音響関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC

情報システム連結売上高推移

(単位：百万円)



電子機器

連結売上高

72億45百万円 
(前期比0.7%増加)

—赤外線機器においては、セキュリティ市場向けの監視システム等が好調に推移し、接合機器では自動車等への新市場開拓を進めた結果、増加しました。

セグメント利益

9百万円 
(前期比3億5百万円改善)

—売上高の増加および原価低減等に努めた結果、大幅に改善しました。



ファイバレーザ溶接機&
ガルバノスキャナシステム



超音波金属溶接機



InfReC
G100EXシリーズ

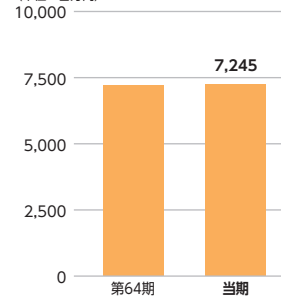


InfReC
R500シリーズ

主要製品：接合機器、赤外線機器、工業計測機器

電子機器連結売上高推移

(単位：百万円)



プリント配線板

連結売上高

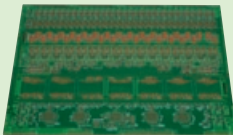
32億60百万円 
(前期比12.4%減少)

—宇宙・防衛関連のプロジェクトが端境期のために売上が大幅に減少しました。

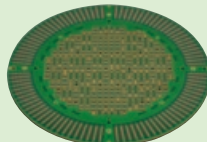
セグメント損失

1億43百万円 
(前期比2億27百万円減少)

—売上減の影響により大幅に悪化しました。



高密度多層基板



半導体プローブカード

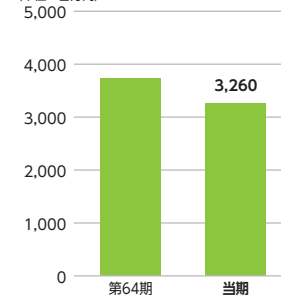


ピンインテストボード (ソケット面)

主要製品：プリント配線板

プリント配線板連結売上高推移

(単位：百万円)



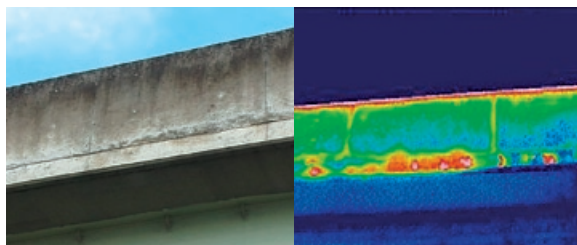
無人機搭載用リモートサーモカメラ試作機のテスト販売を開始



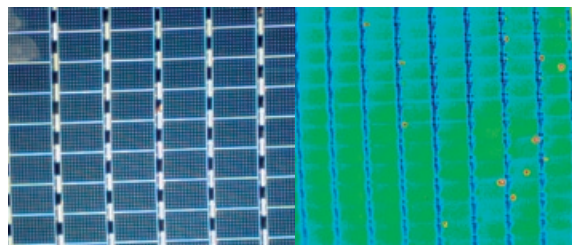
(注) 当社はドローンの製造販売は行っておりません。
写真は搭載イメージです。

◆ドローンと組み合わせ、より多様な活躍が可能！

今日、ドローンとサーモカメラの組合せが非常に高い注目を集めています。特に老朽化が進む道路や鉄道の橋梁、ビルの外壁、ソーラーパネルの効率的な点検やセキュリティ用途での活用が期待されています。当社は、ドローンや災害用ロボット等への搭載を目的としたリモートサーモ（プロトモデル）を開発し、テスト販売を開始しました。



構造物の剥離検査も高性能サーモグラフィで可能に！



太陽光パネルなども、より安全で、より簡単な点検が可能に！

◆小型・軽量ながら、200万の画素数をもつ高性能赤外線サーモカメラ！

このリモートサーモは、わずか400gの小型・軽量ボディに200万画素の可視カメラとSDカードスロットを内蔵した高性能なサーモグラフィカメラで、320×240画素の高性能な赤外線画像センサを搭載し、0.04℃の温度を識別可能な、高画質な熱画像を取得できます。熱画像データはSDカードに直接記録することができるため、データ送信時に通信障害などでデータが欠落する恐れがありません。また遠隔操作によるフォーカス等の制御にも対応し、熱画像と同じアングルで可視画像を記録することができます。

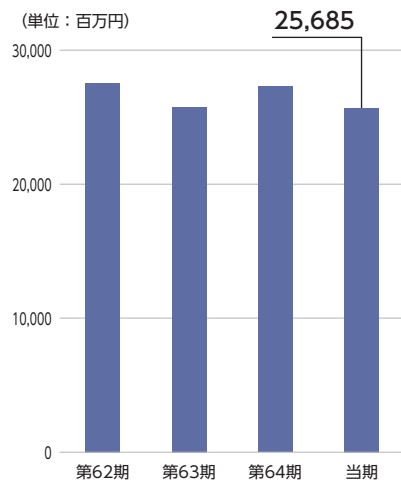
●用語解説

ドローン (Drone)

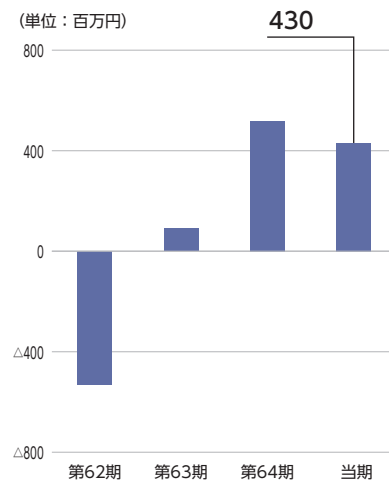
遠隔操作やコンピュータ制御によって飛行する無人航空機 (UAV) のこと。

カメラの有する高性能な姿勢制御装置との組み合わせにより、ほとんど揺れない撮影が可能になりました。近年では災害調査や警備、設備点検など、多くの場面で使用されております。

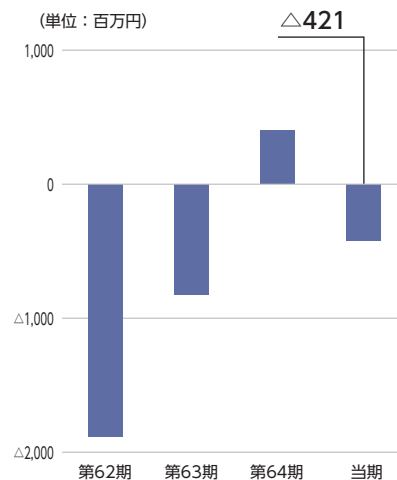
売上高推移



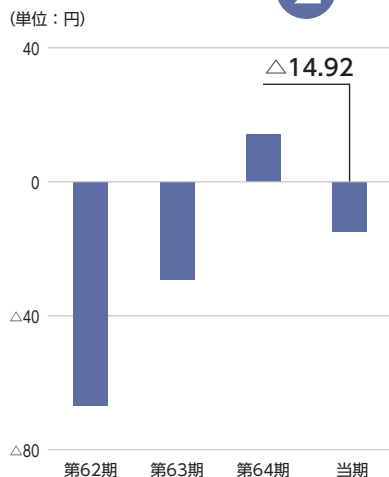
経常損益推移



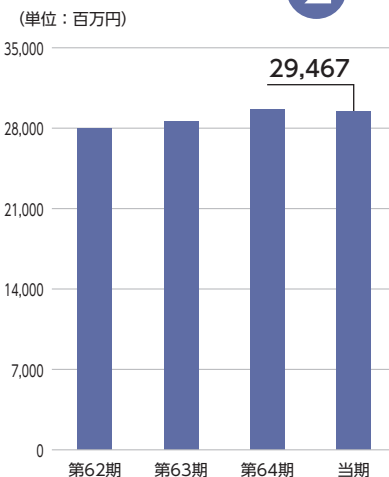
当期純損益推移



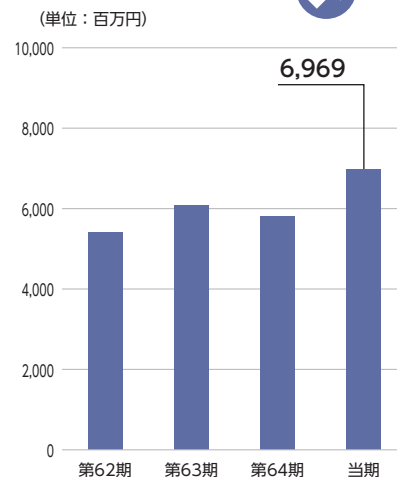
1株当たり当期純損益推移



総資産推移

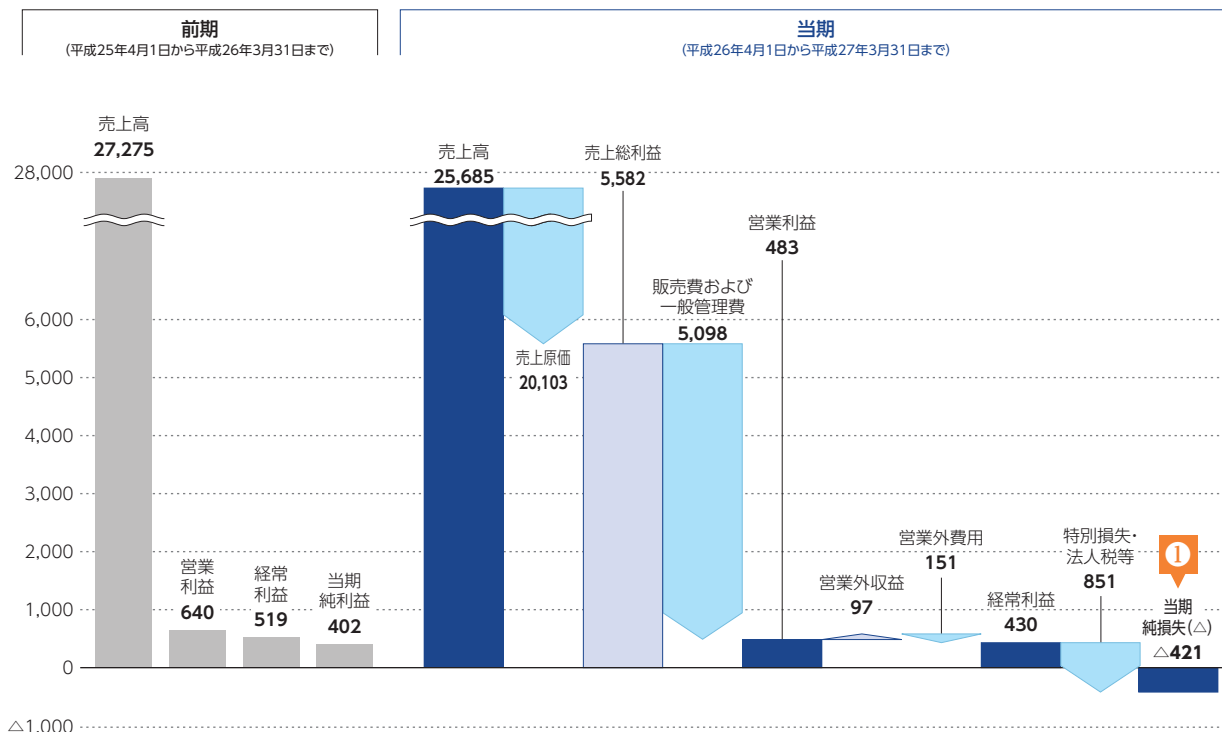


純資産推移



○ 連結財務データ

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

① 当期純損失

経常利益は黒字を確保したものの、事業構造改善費用等の特別損失を計上し、法人税率の引下げ等による繰延税金資産の取崩しを行った結果、前期比8億24百万円悪化の4億21百万円となりました。

② 資産合計

退職給付に係る資産の増加がありましたが、たな卸資産、繰延税金資産の減少等により、前期比1億98百万円減少の294億67百万円となりました。

③ 負債・純資産合計

負債合計は短期借入金の減少等により224億97百万円(前期比13億56百万円減少)となりました。また、純資産合計は当期純損失を計上したものの、退職給付に係る調整累計額等のその他の包括利益累計額が増加したことから、69億69百万円(前期比11億58百万円増加)となりました。

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務は減少したものの、減価償却費の計上およびたな卸資産等の減少により、営業活動の結果獲得した資金は、12億59百万円となりました。

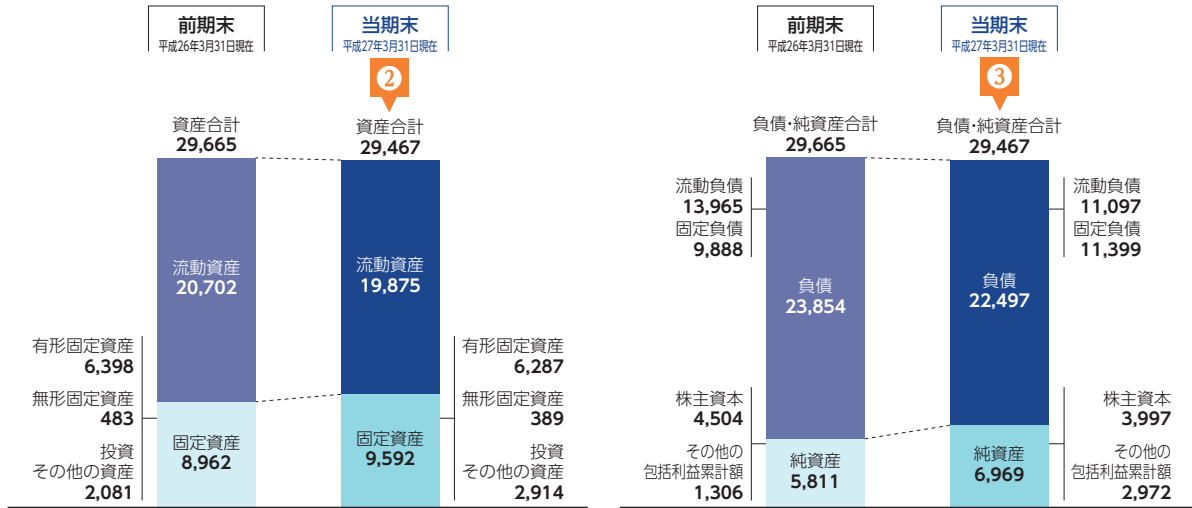
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産取得による支出等により、投資活動の結果使用した資金は、4億65百万円となりました。

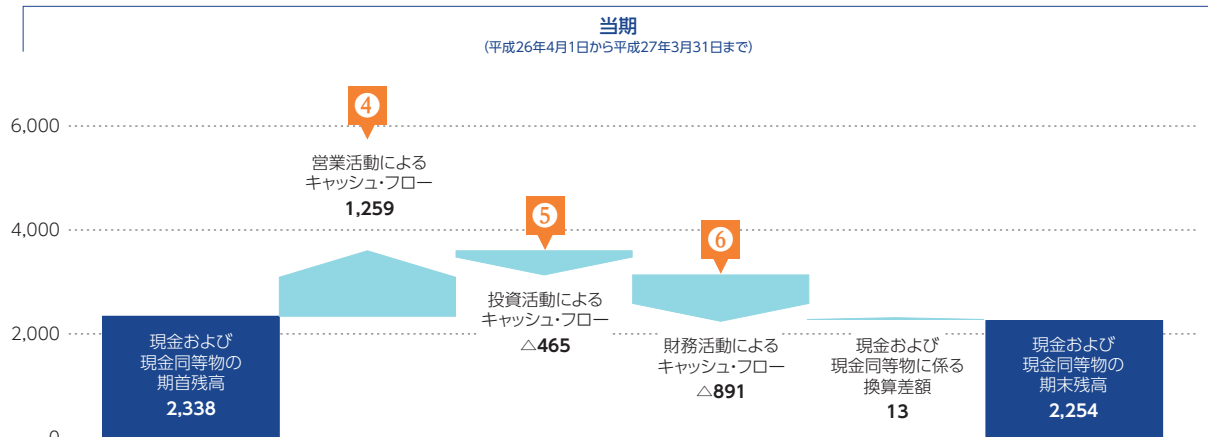
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に借入金の返済による支出等により、財務活動の結果使用した資金は、8億91百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



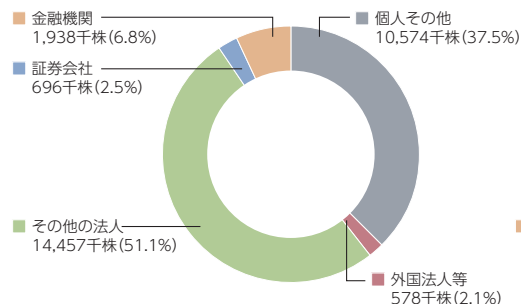
	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,500名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

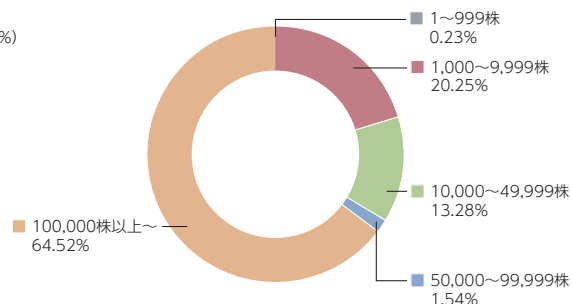
(4) 大株主の状況 (普通株式上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
日本電気株式会社	14,151	50.00
株式会社三井住友銀行	441	1.56
日本アビオニクス従業員持株会	422	1.49
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	342	1.21
日本証券金融株式会社	312	1.10
三井住友信託銀行株式会社	249	0.88
住友生命保険相互会社	218	0.77
伊藤 豊	180	0.64
三井住友海上火災保険株式会社	161	0.57
松井証券株式会社	146	0.52

(5) 所有者別分布の状況 (普通株式)



(6) 所有株数別の状況 (普通株式)



会社の概況 (平成27年3月31日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 1,084名(連結) 771名(単独)
- 証券コード 6946

■ 営業所および工場 (平成27年6月26日現在)

- 本社 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
- 横浜事業所 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
- 新横浜事業所 神奈川県横浜市都筑区池辺町4206番地
- 府中支店 東京都府中市府中町一丁目10番地の3
- 中部支店 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
- 西日本支店 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号
- 熊谷営業所 埼玉県熊谷市筑波三丁目4

子会社 (平成27年6月26日現在)

- 山梨アビオニクス株式会社
山梨県南アルプス市宮沢568番地
- 福島アビオニクス株式会社
福島県郡山市待池台一丁目20番地
- SOLTEC, INC.
12977 Arroyo Street. San Fernando, CA U.S.A.

役員状況 (平成27年6月26日現在)

取締役

代表取締役	秋津勝彦
取締役	新井孝男
取締役	土川稔
取締役	延岡健太郎
取締役	望月愛子
取締役	伊藤茂樹
取締役	松本康子

(注) 延岡健太郎、望月愛子の両氏は、社外取締役であります。
伊藤茂樹、松本康子の両氏は業務執行を行わない取締役
であります。

監査役

監査役(常勤)	鈴木智雄
監査役(常勤)	梅林日出男
監査役	関澤裕之
監査役	千原真衣子

(注) 鈴木智雄、千原真衣子の両氏は、社外監査役であります。

執行役員

執行役員社長	秋津勝彦※
執行役員常務	井川裕三
執行役員	露木満
執行役員	新井孝男※
執行役員	土川稔※
執行役員	木内一雄
執行役員	橋本隆
執行役員	竹内正人
執行役員	山後宏幸

(注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

ホームページリニューアルのお知らせ

この度ホームページをリニューアルし、デザイン・構成を一新いたしました！
今後もIR情報を始め製品情報等、様々な情報を掲載してまいりますので是非ご覧ください。

<http://www.avio.co.jp/>



株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先にお願いいたします。

 日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 VEGETABLE
OIL INK